『チンポマン 第二話 木内さんはオモチャじゃない！』購入および閲覧証明書

※本PDFは、レビュー記事において実際に作品を購入・閲覧した事実を明示するための証拠資料として作成しております。

■チンポマン 第二話 木内さんはオモチャじゃない！の購入詳細

購入日	2025年5月2日
購入金額	330円（税込）
購入先	DLsite
読んだ人	漫画全巻の部屋編集部

■チンポマン 第二話 木内さんはオモチャじゃない！の購入した証拠画像

■チンポマン 第二話 木内さんはオモチャじゃない！のあらすじ

前作から引き続き、木内結はヤンキーグループのおもちゃにされていた。

もちろん、制裁役は清田智久が行っている。

結はヤンキーグループにノーパンで登校させられており、トイレで制裁されていた。

清田はやめるようビシッと言ったようだが、ヤンキーグループは一向に辞める様子はない。

初めての制裁を行った翌日も、清田は自分を正当化して結のことを好き放題する。

制裁の日以降、結の表情から笑顔は消えていた。

そして、結への制裁はどんどん悪化していくのだった。

■チンポマン 第二話 木内さんはオモチャじゃない！の見どころ

ひどすぎる展開

前作から引き続き、結の扱いがますますひどくなっていきます。

今作は結がいろんな屈辱的な扱いをされることになり、酷い系が好きな人におすすめです。

妙にリアルな描写が多く、暗稿先生の漫画の構成の上手さも見どころと言えます。

前作との対比となるシーンも描かれていて、結がじょじょにボロボロになっていくところがうまく描かれています。

スカッとするようなシーンは一切ないため、人を選ぶ作品でしょう。

モヤッとする読後感

前作もそうでしたが、今作もモヤッとした言いようのない読後感が残る展開です。

清田のセリフや行動から、今作は清田がなにかバシッと問題を解決するのかと思いきやそうでもありません。

最初から最後までなんだかモヤッとした気持ちになりながら読むことになります。

とはいえ、大人向けのシーンはしっかりと描かれていて、結の嫌がっている表情とか、スカートの質感とか細かい描写に暗稿先生のこだわりを感じます。

無理やり系や可哀想な女の子が好きなら間違いなく刺さるでしょう。

意外な結末

今作は色々あって、清田も気持ちを入れ替えるのかと思いきやそうではありません。

きちんと清田は清田らしく気持ち悪いです。

どれだけ更生しようが清田の気持ち悪さや歪んだ性格は変わりません。

しかし、結末は意外な展開です。

1作目は続編があるかわからないような終わり方でしたが、2作目となる今作は名作に続きがあるような終わり方でした。

今後の伏線となるようなシーンもいくつかあったので、清田が今後どんな目にあっていくのかが見ものです。

漫画全巻の部屋
by ㈱グリュックス